

B i b l i a



もくじ

図書館委員から
みなさんへメッセージ 2

自著を語る
先生方の著作紹介 3

図書館資料の中から
心理学・美術・音楽 4

新着図書紹介
お知らせなど 5
6

「公」(オオヤケ) について 図書館長 杉浦太一

電車に乗っていてよく耳にするのが「携帯電話のご使用はご遠慮ください」というアナウンスである。「周りの迷惑になるから」というのが決り文句で、いけない理由となっている。よっぽどそのアナウンスのほうがかましいのにとすることもままあったりしながら、なぜそうなのかを考えてみる。決め手のようにいわれる医療機器への配慮は、当然のことであるが、それは電車内に限らないし、さてまたその事故で電車が止まったという話も聞かない。また耳障りということであれば、近頃はCDやMDへ変わって、すっかり影をひそめたが、かつてのウォークマンの機械音の生理的不快からすればずっとましである。生理的な不快、ということなら電車内での飲食や化粧、着替えにだっては言葉もない。わたしが古い習慣や価値観で見ているからそうなのだろうか。結論的にいえばその通りであろう。

しかし携帯電話の件を考えると習慣や価値観の新旧だけの問題でもなさそうである。「公」オオヤケについての意識が構造的に変わってきたせいではないかと考えている。公-私の区別、という言い方でいえば、電車の中はもはや「公」ではなくなってきた、ということになるだろうか。もちろん家の中(私)であるわけもないが、他人の目を意識して、緊張して振る舞う場ではなくなっていることは確かであろう。では何なのか、ということになるが、電車の中は今や「緊張したハレの場、祭り、イベント会場へ向かう過程・途中」として意識されているのではと思う。少し前、 GANGRO が少女たちの祭の衣装であった頃、渋谷へ向かう私鉄の車内で、制服を着替え、GANGRO の化粧に余念のない少女たちを見かけたことがある。かつて「公」は「外」や「他人」を意味していた。意識的にいえば「タテマエ」「道理」の世界であり、人はその「公を生きる」部分で社会人であった。しかし今は少し違っている。もしかしてタテマエや道理にカビが生えてしまったせいか、今我々はそれに大きな引力を感じなくなってしまっている。引力はヒートアップさせてくれる場所やイベントに移動し、それを真ん中に、後は全部(家庭も学校も職場も)周辺・その他・途中に変わりつつあるのではなかろうか。

お知らせ！！ 蔵書検索用のコンピュータを一台入れ替え、検索スピードが格段にアップしました。どうぞご利用ください。検索用コンピュータが、込み合っている時はどうぞ譲り合ってお使いください。皆様のご協力をお願いいたします。

図書館委員からみなさんへ

Wainwright先生

I was born in England and first visited Japan in 1975. That time, I flew into Haneda Airport because it was in the days before Narita. I have lived here since 1985 and have been teaching at Junshin since 1989.

From when I was first able to read I have loved books. At school I was always to be found with my nose in a book! I remember my teacher telling me off once because I was so engrossed in a book that I missed him collecting the money for the school dinners and he had to reopen his cash box specially for me. I was lucky because I lived very close to a library, just a two minute walk, and after school I often used to go there, searching for titles I had not yet read.

Now, one of my hobbies is collecting old books. I have one that was printed in 1575! If you come to my office I can show you a sixteen-volume antique dictionary that I still regularly use.

井出先生

4月から図書館委員に任命されました。記憶をたどると、これは小学校4年生以来の名誉だと思えます！

私は皆さんには純心ギャラリーのオヤジとして知られていても、図書館には本の購入でお世話になるばかりで、今まで何の貢献もしておりません。これからは研究室が一番遠いなんていわずに、せっせと巨体を運んでお手伝いすることにいたします。

欧米の大学はみな付属のミュージアムを持ち、図書館と連携して高度な専門教育をしています。私が訪問した中では、ロンドン大学のコートルド研究所、ハーヴァード大学のフォッグ美術館が最高でしたが、まああれほどのものは日本には、不思議なことに東大京大早稲田慶応をひっくるめても皆無です。とはいえあまり理想を高くしてもきりがありません。私の美術評論家という仕事柄、美術展のカタログが、この間学生に数えてもらったところ、研究室や学芸員課程準備室に1400冊ほど集まっていた。とりあえずこの使い道を考えています。

藤原先生

府中の森でクリスマスコンサートがあった折、楽屋

を立川高校(旧制府立二中)時代の友人が訪ねてくれた。彼は美術部、私は音楽部と部活動は違っていたが、現在も付き合いがある。専門が北欧近代史、早稲田文学部教授である。彼の訳本「レーネとドトムレ」を進呈してくれた。デンマークの人気作家カレン・ヴィーゼバクの作品。八歳の女の子とトカゲの話。子供向けの童話だが、若い女性にも読んでもらいたいと語るように、純心の学生諸君、童話を読んでみよう！子ども文化学科が新設される我が東京純心女子大学、童話の世界を解らずして子ども文化は語れまい！私は、旧制高校の流れをくむ男子高校、大学時代も男子寮出身ですが、彼と同様けっこうロマンチストなのです。

趣味・・・イワナ釣り

特技・・・極上のエスプレッソを入れる事

山賀先生

この4月から、図書委員となりました英米文化学科の山賀尚子です。よろしくお願います。さて、皆さんは「図書館」を利用していますか？いつ利用していますか？何のために利用していますか？毎日ですか。時々ですか。テスト前だけですか。夏休み中ですか。

図書館にはたくさんの利用方法があります。専門書だけでなく、絵本、ビデオ、CDなど多岐にわたる情報源が並んでいて、多くの有益な情報を提供してくれます。また、司書の方々が常にいらっしゃいますから、わからないことがあれば、すぐに質問することができます。

私は、研究資料を入手するほかに「心を落ち着かせる」という目的で図書館を利用しています。たくさんの本に囲まれた静かな空間に身を置いていると、自然とリラックスし、ゆったりとした気分になります。そして、ごちゃごちゃしていた頭の中がすっきりしてくるのです。「心を落ち着かせるため」に皆さんが図書館を利用しているかどうかはわかりませんが、足繫く通ってみてください。きっとあなただけの素敵な空間がそこにあるはずですよ。

LEXIS英和辞典

英米文化学科 満尾 貞行

英和辞書には2つの用途があります。一つは調べたい単語の意味をちょっと調べる。もう一つは、じっくりと例文を読む事によって、その用法(話すときに、書くときにどう用いるのか)を理解したり、単語の意味を学ぶ。電子辞書は前者の用途には向いていますが、後者にはあまり向いていません。私も執筆のお手伝いをした「レクシス英和辞典」は、後者の用途向きと言えます。特徴を少し紹介しましょう。

第一に、「運動をする」は'do/get/have/take exercise'のどれがいいのかな?といった類の質問に答えてくれるのがこの辞書です。アメリカやイギリスでは、何人ぐらいの人がどれを使うのかといった調査結果も教えてくれます。アメリカ人やイギリス人の「生」の言葉使いが伝わってくるわけです。

第二に、'examination/test/quiz'のように日本語の意味は似ているが、用いられ方に違いがある単語の解説をしてくれます。それもわかりやすい図説です。

第三に、単語の例文には日本人学習者が「こういうときは何と言うのかな?」と思うような表現をたくさん盛り込んであります。

第四にいろいろな意味をもつ単語(多義語)には、その単語の「根本的な意味」がまず明示されています。いろいろな意味をもつ単語は把握しにくいですよ。しかし「根本的な意味」を把握した上で様々な例文に接すると、その単語にずいぶん馴染むことができます。まだ他にも様々な特徴をもった辞書です。

ぜひ一度手にとってご覧ください。

ルーヴル美術館

芸術文化学科 井出洋一郎

美術本や展覧会の監修ならいつもの仕事にしている私も、DVD-ROM監修までは初めての経験でした。

このDVD-ROMは原盤制作がRMNフランス美術館総連合になり、仏語英語版は出ていますが、その日本語版を作るうというわけです。なにしろこの情報量がすごい。ふつうのCD-ROMにすれば7枚分。ルーヴル美術館の学芸員が直に書いたデータ、解説付きの絵画彫刻などの画像が952点!これが細部まできれいで拡大写真もよく見える。動画もヴァーチャル・ヴィジットといって、展示室を歩く感じで解説の音声と一緒にカメラが移動するのは感動ものです。作品検索やスライドショーだけでなく、ルーヴル美術館の歴史やヨーロッパ

の美術史も動画と一緒に学べる。ただしこの翻訳版を完成するとなると膨大なスタッフの労力がかかりました。監修の私も丸2年間、日本語の翻訳原稿とパソコンのフランス語オリジナル画面を見比べてかなり目が悪くなったはず。そのおかげで?この日本語版は社団法人全国学校図書館協議会の「第4回 学校図書館メディア賞」を受賞しました。成果は純心の図書館でも一枚買ってもらいましたので、ぜひお試しください。私のルーヴル・エッセイも載っている製品のサイトもよろしく。

<http://ebook.shogakukan.co.jp/scatalog/louvre/special/index.html>

イギリス・アメリカ児童文学ガイド

英米文化学科 田中妙子

子どものための読み物が「文学」としての市民権を獲得するようになってからまだ150年ほどしか経っていません。19世紀後半になってやっと人間は自分のこども時代を振り返ることができたわけで、それまでは、大人とこどもの間の壁が高すぎたともいえますし、又逆に大人とこどもが分化していなかったとも言えるように思います。

最近のハリリー・ポッター・ブームが示しているのは、こどもが面白いと思うものは大人も面白いと思うものであるということでしょう。児童文学は実は文学のエッセンスが濃縮されてしかも理解しやすい形で備えられているものなのです。「こどもだまし」という言葉がありますが、こどもをだますのはむずかしい。児童文学の名作はそういうだまされないこどもたちという批評家が言質を与えた文学の精髓と言ってよいか

もしれません。

ともかく、そんな児童文学を皆さんに読んでいただきたい、そして、研究対象にさせていただきたいという願いと、研究する場合に参考にさせていただきたい、児童文学が提供する様々な問題を洗いなおすために企画されたのが、この『イギリス・アメリカ児童文学ガイド』です。

イギリス、アメリカは無論のこと、英語圏の児童文学がコンパクトに網羅されています。周辺として絵本作家やマザーグース、児童向け詩集の項もあります。(マザーグースと児童向け詩集は田中が担当しています。)

ぜひ、皆さんの読書の道しるべとしてお役立て下さい。

テーマに沿い所蔵資料を紹介していきます。今回は「心理学、音楽、美術」に関連する入門的な資料を選びました。

こころを読み解き、元気になる心理学の本

☆よくわかる心理学

【こころの謎にせまる】

尾形佳晃著 池田書店 (140 ㍲)

心理学の基本的な考え方からその研究分野、現代の心の問題とその解決法など心理学の重要なポイントを図解とともに紹介しています。心を探求することの面白さを感じとれる1冊です。

☆心理学のすすめ(21世紀学問のすすめ)
佐々木正人編 筑摩書房(140 ㍲)

☆図解心理学入門

久能徹、松本佳樹監修 ナツメ社
(140 ㍲)

☆優しい時間 一心を癒す7つのセラピー
五十嵐佳子著 旬報社(146.8 ㍲)

☆心理学を学び、活かす。

大川一郎、松尾直博著

日本実業出版社 (140.7 ㍲)

「心理学ってどういう学問」「心理学を勉強するにはどうしたらいいの」「心理学と関われる仕事はどのようなのがあって、どうしたらその仕事に就けるの」など、知りたいと思っている事柄について具体的に紹介しています。

☆よくわかる臨床心理学

山口創著 川島書店 (146 ㍲)

これから心理学を学ぼうとしている人を対象に日常の事例を多く用いわかりやすく解説しています。また「心理療法は本当にきくのかな?」「心理療法とカウンセリングはどう違うの?」といった素朴な疑問についても解説しています。

☆アニマル・セラピーの理論と実際

岩本隆茂、福井至共編 培風館

(146.8 ㍲)

臨床心理や介護、福祉の場で注目を集めているアニマル・セラピーについて実践例を交えながら解説しています。また、人間にとって動物との絆が持つ意味もとりあげ、介護や治療にアニマル・セラピーを導入する重要性を明らかにしています。

☆心を元気にする色彩セラピー

—色が気持ちを变えてくれる!

末永蒼生著 PHP研究所 (146.8 ㍲)

色と心の不思議な関係を著者自身の体験をもとに、色彩セラピーについてカラーの絵を交えながら解き明かしています。例えば「ピンク」は「心を開花させる優しさ」、「黄色」は「光と希望」など、心豊かな暮らしのためにどのように「色」を取り入れたらよいかを伝えています。

☆フロアングルに学ぶ

—生きる意味を発見する30章

斉藤啓一著 日本教文社 (146.8 ㍲)

フロアングルは「極限状況における人間の姿を」科学者らしい冷静な筆致で描いた『夜と霧』(原題は『強制収容所における一心理学者の体験』)の著者として知られていますが、現代人の心の特効薬として近年評価の著しい心理療法「ロゴセラピー」の発案者です。このフロアングルの人と教えを紹介した入門書です。生きる意味と目的を真摯に探求したい人への「生きかたのヒント集」です。

「悩む人ほど健康で人間的である。悩む能力が麻痺していないからだ。」

図書館資料の中から

ここに安らぎと、うるおいを与える芸術の本

☆芸術の楽しみ —やさしい芸術学—
原田平作、神林恒道編
晃洋書房 (704 ケ)

美と芸術の世界は何よりもまず感動によって開かれる世界です。美しいものに対して心を思い切り自由に開くこと、これがいちばん大切なことです。この本は、「見ること」、「聞くこと」、あるいは「語ること」の「楽しみ」を語り芸術をもっと好きになるための本です。

☆音楽がわかる。 AERA Mook
朝日新聞社 (760 オ)

☆音楽の基礎

音楽之友社 (761.2 オ)

初心者から専門に学ぶ人まで、楽譜の読み方、書き方、音楽用語など解りやすく書いています。

☆音楽する精神

A.スー著 白揚社 (760.1 ス)

☆立体で見る美術がわかる本

ファン・デル・メル&ウィットフォード著

福音館書店 (6707 フ)

世界の名作70点と、めくったり、とびだしたりするしかけで、美術作品がどのように作られているかをわかりやすく解説しています。
・美術作品はどのように作られるか
・写実的に描く
・光と色
・動き
・模様と構図
・物語となぞ
・スタイルとテーマ

☆これならわかるアートの歴史

—洞窟壁画から現代美術まで—

J.ファーマン著 東京書籍 (702.3 フ)

洞窟壁画の無名人から現代アートの巨匠群まで、美術の流れとその真髄をユーモアやパロディで説いた偏屈男の正統美術史。

☆絵と音の対話

辻邦生編 音楽之友社 (760.4 イ)

音楽を感じさせる絵、情景を表現する音楽。関わり深い絵と音楽をめぐる思索と随想を集めた本です。

「展覧会は聞くべきもので音楽会は見るべきものだ」とはなかなか深い言葉ではありませんか。

☆音楽美の探求

西崎専一ほか著 音楽之友社
(760.1 オ)

歌謡曲は楽しめるがクラシックは楽しめないとすれば、なぜ？それを妨げているものは何？では、それを楽しみに変えるにはどうすればよいのでしょうか。そのために受け取る側はどう感性を磨き、どのような知識を身につければよいのでしょうか。音楽を楽しみ、理解するためのさまざまな問題を考えられています。

☆美楽極楽のこころ

井出洋一郎著 小学館 (723 イ)

「私は美術をしかつめらしく語るのが大嫌いなのである。だいたい＜美術＞という訳語も好かない。その点で音が純粋に楽しめる＜音楽＞がうらやましい。今から＜美楽＞(びらく)という新語をはやらせたい。」西洋絵画を素材に、美なるもの、妙なるものと会話を交わす、至福・極楽の一冊。

☆すぐわかる東洋の美術

—絵画・仏像・やきもの&
アジアの暮らしと美術—
竹内順一監修 東京書籍 (720.2 ス)

☆すぐわかる西洋の美術

—絵画・彫刻&建築と工芸—
宝木範義監修 東京書籍 (702.3 ス)

新 着 図 書 紹 介

- ☆子どもと子どもの本のために
E・ケストナー著 岩波書店
- ☆子ども学 佐野美津男著 農山漁村文化協会
- ☆現代日本人の意識構造
NHK放送文化研究所編 日本放送出版協会
- ☆「働く」を考える
梅澤正・脇坂敦史著 ペリカン社
- ☆グリーンコーディネーターになるには
吉田幸夫著 ペリカン社
- ☆ジェンダーの日本史
上 (宗教と民俗 身体と性愛)
下 (主体と表現 仕事と生活)
脇田晴子 S・B・ハンレー編 東京大学出版会

- ☆遊びの文化論 園田硯哉著 遊戯社
- ☆子どもの文化権と文化的参加
佐藤一子・増山均編 第一書林
- ☆遊び 遊ぶ主体の現象学へ
ジャック・アンリオ著 白水社
- ☆DRAFT ドラフト(世界のグラフィックデザイン 60)
ギンザ・グラフィック・ギャラリー
- ☆戦後マンガ50年史 竹内村著 筑摩書房
- ☆14ひきのこもりうた
- ☆14ひきのとんぼいけ
いむむら かずお作 童心社
- ☆日本児童文学の現代へ 野上暁著 パロル舎
- ☆入門児童文学 児童文学世界 中教出版
- ☆文章表現基礎セミナー
中田秀夫著 明治書院

シリーズ:図書館員からのメッセージ 第6回

ヒソカナ楽しみ・・・私のコレクション

図書館 丸山幸子

コレクション、といってもまだそれほど数があるわけではありませんし積極的に探し回るといってもしていません。後々高値がつくようなものでもなさそうですが、私にとっては心とむささやかな楽しみです。私のコレクション、それは「本のしおり」、それも新書や文庫に挟まっている小さなしおりです。

このしおり、狭い紙面ですが各社それぞれ工夫を凝らして、並べてみるとなかなかおもしろいものです。新潮社の「Yonda?しおり」。パンダのカワイイしおりはご存知でしょう。岩波新書はちょっと硬派。でもおばあちゃんの知恵袋的に雑学が増えそうな言葉シリーズです。同じ岩波でも少年文庫のものは淡いピンクやブルーの地に「クマのプーさん」や「エーメールと探偵たち」のカットがあしらわれていてかわいいで

す。講談社現代新書は「アジアのかたち」というシリーズ。織物の文様が印刷されていてアジアの風が吹いてくるような気がします。角川文庫のキャラクター「チョックラ・ド・フローネ」はのんびりお風呂で本を読みたくなる感じ。今一番のお気に入りには光文社知恵の森文庫のもの。はらぺこあおむし風のイラストに短いお話。あおむしくんは必ず本を読んでいるのです。ほかにもいろいろありますが、これからどんなステキなしおりに出合えるのか、本をパラパラめくる楽しい毎日をすごしています。

さて図書館は様々な資料をコレクションしています。このコレクションは先生や学生の皆さんとともに作っていくものです。より良いコレクションとなるよう、どうぞお力添えください。



○夏休み長期貸出

受付 7月14日～9月20日
返却 10月6日
貸出冊数 一人10冊まで

○夏休み開館日

8月12日まで開館
8月13日～9月9日開館
9月10日から開館
開館時間は掲示、ホームページで確認してください。



図書館はいつもあなたとともに

東京純心女子大学図書館報 びぶりあ N. S. 13
発行:2003. 7. 10

〒192-0011 八王子市滝山町2-600
電話0426-92-0326
E-mail ulibrary@t-junshin.ac.jp
http://www.t-junshin.ac.jp/univ/lib/